長唄 晒女（近江のお兼）

明キ　波音

明クトスグ　波音　バタ〳〵〳〵…

※明クトスグ「オロシ」ニテ荒馬ヲ追ウ型アリ
お兼、荒馬ノ手綱ヲ足デ押サエテ見得 → チントンチャン

カラミ一人揚幕ヨリ出ル　トンボ切ルト、ト
セリフ「どうする〳〵」ト、前弾キ・波音ニテ揚幕ヨリお兼トモウ一人ノカラミ出テ合方イッパイニ　キ

スグ
チントンチャン　天ヨイ

〽とめて見よなら　菜種に胡蝶
〽梅に鶯　松の雪　さてはせな女が

ト、渡り拍子　頭地クセ　地ノベ　半上ゲ

〽袖袂しょんがいな

〽色気白歯の団十郎娘　強い強いと名にふれし

〽お兼がうわさ高足駄　ト、居直リヘ　波音

〽まだ男には近江路や晒し盥のたがなぶろうと
〽恋じゃいやいや角力でならば
〽相手選ばず渡り合い

〽ありゃりゃりゃよいやさ　トチ　テン／天／天　レス　ス

〽四つに組む手をほどいてそして
〽引手押切り腕取り　投げの情の取組が

ト、正天

〽面白かろではないかい　ツ、ツン、、テン　な　天ツツ　レク

スグ
〽力試しの曲持ちは　（相撲太鼓）

〽石でもごんせ俵でも　ござれござれにさし切って
〽五十五貫は何のその　中の字きめし若い衆も
〽女子にゃ出さぬ力こぶ　テレン レレン　カラ　カラン　ト

〽ほんにほおやれ逢う夜はおかし
〽折を三上の文さえ人目　関の清水に心は濡れて
〽今宵堅田に老蘇の森と　返事信楽待たせておいて

〽まだなことじゃと心で笑い
〽嘘を筑摩の仇憎らしい

ト、合方アッテ　チリレン〳〵ツルテン ツルトン

〽更けて今頃　三井寺は　何処の田上と寝くさって

ヲシ4

早間　タア　ス　ツ　タ　△　早間　鳥篭のやま　△　タ　イヤ　タ　△（ハ）　早間

〽こちは矢橋の一と筋に
〽ほんに粟津のかこち言　思い大津は　初秋に

ス　△△△　ス　タ　イヤ　タ　△

〽かがみの宿の盆踊り

竹笛

〽かがみの宿の盆踊り

合方ヨリ

ドーンツテン、トッテレトン　ドーンツ

〽天の川　星の契りも岩橋の

摺り鉦

〽明くるわびしき葛城の神ならぬ

チン、、チンドツテントン

〽身は末かけてよいやなよいやな

スグ

音頭

柄太鼓

チャツパ

〽誓紙の上もかささぎの橋うら

スグ　ツンテンチン　チンチン　チンチン　チンチン

〽に立つ笛竹も一節切とは聞くつらさ

〽八聲の鳥にせかれてはよいやなよいやな

〽たきもの姫の移り香を

ツンテンチンチン

〽寝間衣ながらの起き別れよいや

〽なよいやな

〽笹の一と夜を縁結び

〽笹の一と夜を縁結び　ト、合方へ　波音

合方アッテ
チリチチツチ、チンチチテツテ　ツトロツトン
フヨイ　タ△　タ△
ヤァ　タ
ト、　鼓唄

〽野路の玉川萩越えて　色ある水ゥ

ヲシ　打行　ヤァ　ノル　ンヨイ　にィ　ンハヲ

〽晒し野や
フヤァ　地四　ヨイ　ヤァ　地四　ハヲ
波音

〽晒して振りを　見せ参らしょう　見せ参らしょう

波音 ㊦　（フヤ）

フヤァ　地二　ツ　地六　手二　ツ　ヨイ
波音
波音 ㊦

スグ
〽立つ浪が　立つ浪が　膳所の網代にさへられて　流るる水を　堰き止めよ　堰き止めよ

大太鼓・鉦
ハヲ　天　天　テ　天　ケ　天　テ　ガ天　天　ツーツ　イヤ、　ハァ　天　天

スグ
フヤァ　地四　ハヲ
波音
波音 ㊦
フヨイ　ツ　ハヲ　ツ　ヨイ

〽さっさ車の輪が切れて

〽輪が切れて　いずれ思ひは　どなたにも　どなたにも

スグ
ハヲ　チチ　テテ　天　ケケ　天　ト、　サラシ　頭一　地上ゲ　イヤ　テレン

〽晒す細布　手にくる〱と　さらす　細　布　手にくる〱と
フヨイ　ヲシ　ヨイ　イヤ　タ△

〽いざや帰らん賤が庵へ

析ニ付キ　サラシ　段切